

印刷業界に特化した人材紹介会社、ヒューネット(株)（逓林社社長）が、印刷業界への就職を希望する学生を集めて、先頃開催した「印刷関連産業研究会」で、「(将来就職するであろう)印刷会社に何を望むか」というユニークなアンケートを実施した。ここでは、その回答内容を体系的に取りまとめ、受け入れ側の印刷会社に、現代の学生たちは何を求めているのかの「真意」を伝えたい。純粋な見方・考え方を、それこそ真摯に受け止めていく必要があると思う。『就職最前線——現代学生の「真意」とは』と題し、三回にわたって連載する。

【印刷に関わる生き甲斐】 書いてもらったところ、時代人生にとって、生き甲斐、の趨勢か、最近の教育テーマ働き甲斐は不可欠の要件だ。なか、モノづくりを中心に、印刷の仕事に就くことに 据えた回答内容が目立った。よっていかなる生き甲斐を見 「自分たちがつくるだけ出そうとしているのか、非常 なく、人の意見などをもらいに興味深い。まず、その点を ながらモノをつくること」自



「印刷関連産業研究会」(ヒューネット主催)のもよう

# 学生は印刷会社に何を望む？

## 就職最前線

現代学生の「真意」とは

分の企画したものが、紙などを通して世の中に出て行くこと。「いろいろな仕事ができるモノづくりの楽しさ」「紙などを通じて、人びとにモノを伝えるところ」「自分が制作に関わったものが、かたち

スターなどの印刷物を自分が刷っている」ということになら。以下のように続く。「自分のやっている仕事が、印刷メディアに価値を見つけて」「一つ一つ作品を作っていく感覚」「印刷業は紙媒体だけでなく、さまざまなものにわたっている。アイデア次第で多くのものをビジネスチャンスにできる」「無から有をつくり出し、新しいものを生み出せる」「自分の想像したものに、アイデアが具体的なかたちになる」とする。

行までのサポートや、遂行をおこなった際には、強い達成感を得られそう」「自分の手でイメージをかたちにすることで、お客さまに満足してもらえる」「もし、自分が新しい提案をしたら、それがかたちとなり、皆に手に取ってもらって評価される」といった回答だ。

## モノづくりの楽しさ

## 印刷を通じて社会貢献

として世の中に残ること」「自分がおこなった作業でできた印刷物が外に出て、相手に喜んでもらえること」「たぐきんの業界、人との出会いのなかで、成果が目に見える商品をつくれるところ」と、次々と答えを得た。

「あなただから」ということさら社会を意識しなくて人々とのつながり、信頼も「印刷を通して何かを残したい」「自分が関わった印刷物にモノとして残る」ことに喜びを感じ、「人に喜ばれる仕事、人に見てもらえるオリジナルな仕事」をしたいという。」「とてもクリエイティブなものを生み出せたとき」「モノづくりに実際に関わり、芸術をかたちにしたとき」にも当然、充実を感じる。

「相手のいる仕事なので、つくり終えたあとの一体感があると思う」「全社一体となって、働いていくことで、自分が何かを成し遂げていく」「お客さまの要求に対して、成功して喜んでもらえる」「人と人をつなげ、一つのものをつくり上げることができ」「つねに新しい仕事を発見し、日々、目新しいものとの出会いができる」「お客さまの要望のなかで、自分が

文化や情報に生き甲斐を見出そうとする学生も多い。「印刷なしでは文化は広がらない大切な仕事だと思う」「社会に対して、情報を伝達する印刷という仕事を通じて、社会に貢献していくこと」

身近なところで「人の目に止まるようなものをつくりたい」「生活の中で見かけるポ

甲斐を見出そうとする気持ち強いようだ。「日本の文化、社会に印刷をもっと広げたい」「印刷物の企画立案から実